

入場
無料

私の歩いて来た道

～戦前・戦後の女性の生き方に関りながら～



講師：福岡女子大学名誉教授（1954年～1985年在職）
秋枝 蕭子 先生

1920(大正9)年生まれ。リベラルな両親のもとで育つ。東京女子大学の英文科を卒業後、出版社勤務等を経て、旧制東北帝国大学文学部西洋史学科に入学、学部卒業後、大学院特別研究生第1期(2年)及び第2期(3年)を修了。専門は西欧の女性史・女子教育史研究。

福岡女子大学教授(この間1963～64年の1年間、フルブライト研究員として米国ハーバード大学で研究に従事)、九州国際大学教授を歴任し、日本における女性学研究の草分けの一人。男女雇用機会均等法(1986年施行)の実現に尽力された。1997年、内閣府より第一回「男女共同参画社会づくり功労者」として表彰される。

主な著書

〈主著〉 2004『森有礼とホーレス・マンの比較研究試論』 梓書院

〈共著〉 1991『歴史をひらく愛と結婚』(森有礼と植木枝盛の比較研究) ドメス出版

1993『光をかざす女たち—福岡県女性のあゆみ』 福岡県女性史編集委員会

2000『女と男の時空「日本女性史再考」〈10〉闘ぎ合う女と男—近代(下)』 藤原書店

2010『あなたにバトン—戦前・戦中・戦後の福岡の女性たちの体験記』

第2次世界大戦前・戦中・戦後の福岡の女性の体験を明日に伝える会

10月24日(水) 14:40～

受付:13:30～

福岡女子大学

附属図書館1階 視聴覚室

主催:福岡女子大学 地域連携センター

福岡女子大学 同窓会 筑紫海会

協賛:学校法人 筑紫海学園

✧茶話会のお知らせ✧

講演会終了後、秋枝先生との茶話会を予定しております(1時間程度)。ぜひご参加ください！

お申し込み方法

葉書、FAX、E-mailのいずれかに、氏名(ふりがな)、住所、電話番号、年齢をご記入の上、下記までお申し込みください。お電話でも受け付けております。

※受講証は発行していません。お申し込み後、当日、受付にてお名前を言っていたいただければ受講できます。

戦前、女性は人間として一人前と認められておらず、「法的無能力者」とみなされてきました。「女性に教育は必要ない」と考えられ、女性に対して大学教育の門戸は開かれていませんでした。戦後は、女性にも参政権が認められ、教育も原則的には男女平等に開かれ、女性に対する差別は飛躍的に解消されつつあるように思われます。とはいえ、「男は仕事、女は家庭」といった固定観念は日本社会に根強く残っており、一部の女性は仕事と家庭の両立に必死である一方、他方では保守化が進むといった、女性における二極分化も見られます。

女性の人的資源は、どのように生かされるべきなのでしょう。男も女も自立した社会は、どのように達成できるのでしょうか。秋枝先生ご自身の体験を通して戦前から戦後にかけての男女平等に関わる変遷について語って頂き、このことについて考えたいと思います。

お申し込み・お問い合わせ



公立大学法人 福岡女子大学 地域連携センター

〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘1-1-1 Tel・Fax:092-661-2728 (直通)

Tel : 092-661-2411(代表) Fax:092-661-2420(代表) E-mail : rcle@fwu.ac.jp